



漫画

# 日本社 リベンジジャーズ

序章

与国秀真

YOKUNI Hotsuma

『雨の牙』という小説がある。  
主人公のジヨシ・レインは、  
日本人の父とアメリカ人の  
母を持つ  
日系アメリカ人で、



大型新人作家が放つ  
究極のハード・サスペンス

東京の闇に潜り込んで探るべき謎時と真犯人、  
ひとりの女のため、真実の探偵が凶悪に闘む!

CIA工作員であり、  
そして  
暗殺者でもあった。

この小説に対して、

翻訳家であり、

またジャーナリストでもある

マーク・シュライバーは、

次のように書評を書いた。

東京は、電話が盗聴され、  
スパイが銃を撃ち合い、

電車に乗る時には  
必ず自分の背後を  
確認する必要がある  
危険な街である。

これは真実である。



真実は違う。

平穩に暮してゐると、  
東京は安全な街に見えるが、



たとえば2008年9月、  
リーマン・ショック  
による不況が  
まだ後を引いていた当時、

中川昭一財務大臣は、  
次のようにホワイトハウス  
に向けて猛抗議した。



日本は黙ったまま、  
世界の  
キヤツシユ・デイスペンサー  
になるつもりはない

このやり取りを  
日本人で見っていたのは、



『産経新聞』の特別記者の  
田村秀男ただ一人であった。

猛抗議の翌年

2009年3月3日、

中川財務大臣は  
酩酊会見を行って、  
大臣を辞任する。



酩酊会見からわずか七カ月後、  
中川元財務大臣は  
自宅で謎の死を遂げた。



実は先の敗戦以来、日本は、  
キャッシュディスプレイペンサーなのだ。



それは私たちが  
いつの間にか**ATM**であった、  
ということの意味している。





たとえば我々日本人が

見せられている国家予算は、

「一般会計」というもので、

これは100兆円程度だ。

国民から集められる

約50兆円の税収では、

足りないから



赤字国債（借金）を発行して、

さらに約50兆円を準備して、

予算を組んでいる。

しかし実は

その「一般会計」の奥に、

400兆円にもなる

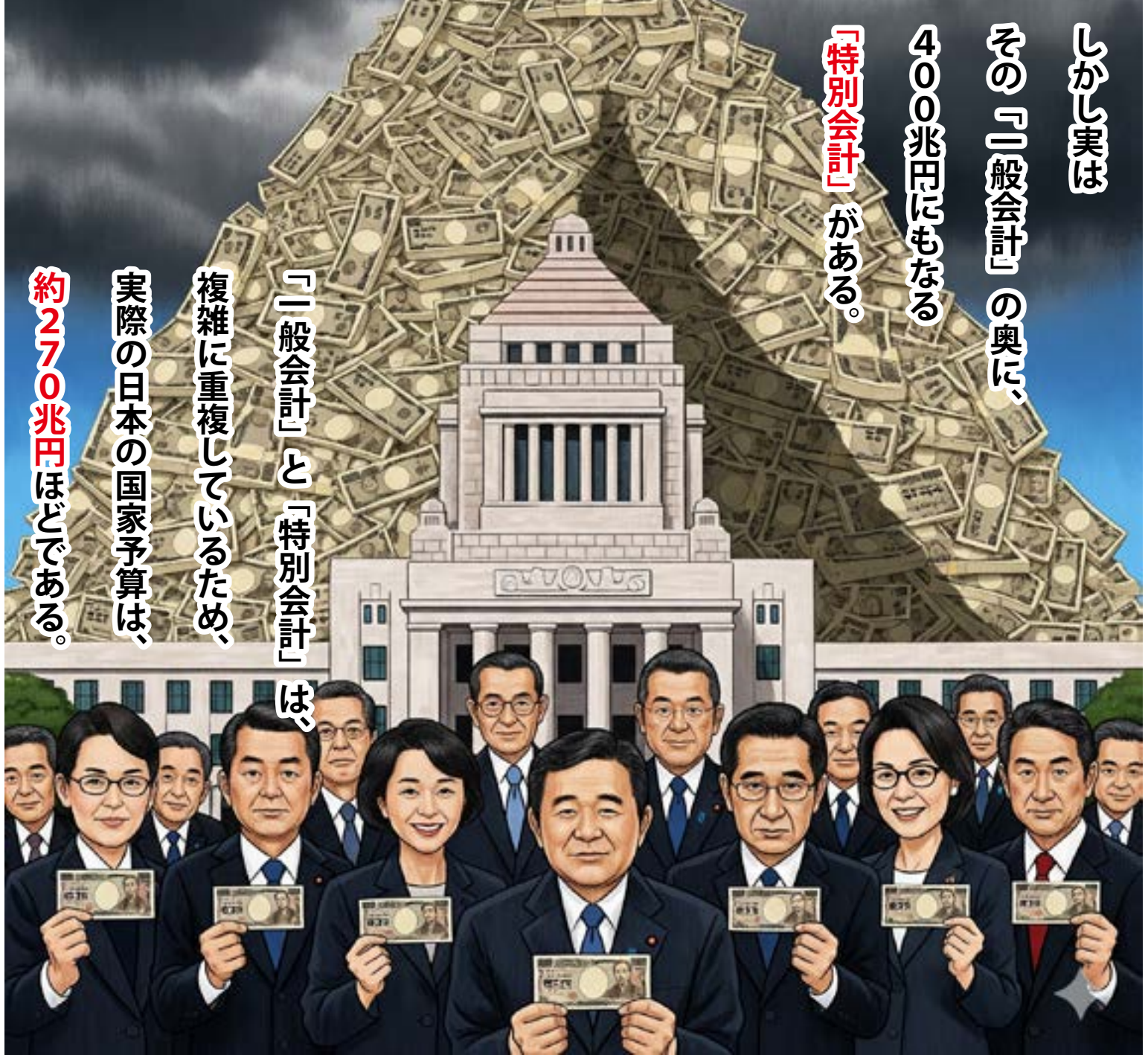
「特別会計」がある。

「一般会計」と「特別会計」は、

複雑に重複しているため、

実際の日本の国家予算は、

約270兆円ほどである。



しかしこの「特別会計」は、

財務省のホームページに

記載されているものの、

国会できちんと

議論されたことは一度もない。



2001年に民主党の

石井紘基議員が、

宮澤喜一財務大臣に、

こう質問した。



特別会計が  
いくらくらいあるか  
知っているか？

情けないことに

宮沢財務大臣は、

「特別会計」を

把握していなかった。



一度、  
お調べまして……

石井議員は

「特別会計の闇」を

国会で暴こうとして

その3日前の

2002年10月25日、

殺害された。



彼は死の直前、

「近々、

日本がひっくり返るほど

重大なことを発表する」

と語っていたと云ふ。

2016年の

『報道ステーション』、

降板が決まった古舘伊知郎の

最後のゲストは、

みのもんだだった。



日本の国家予算は  
80兆円とか、  
答えるじゃん。  
その裏に200兆円の  
特別会計！



特別会計！



なにこれ!

我々一般国民が、  
まったく知らないところで  
二百数十兆円という  
お金が、  
自在に各省庁のお役人が、  
使ってたと思ったら、  
許せない!



みの×古館  
生

「とんでもない」って  
クレームが来ました。  
あるところから。

こんなバカな国だったのか、  
申し訳ないけれども、  
公認会計士と言われる人  
十人を国会に送り込んで、  
特別会計を調査したい、



みの×古館

その後、みのもんたは、  
古館伊知郎と共に、  
テレビから姿を消した。

国会でも、テレビでも、  
取り上げられない日本の税金、  
特別会計二百数十兆円。

石井議員を殺したのは、  
指定暴力団系の右翼団体の  
通名「伊藤白水」、

本名は「尹白水」という  
在日朝鮮人である。

윤백수



「刑務所送りとなった尹は、  
2010年10月に  
放送された  
テレビ朝日の報道番組  
『ドキュメンタリー宣言  
石井紘基議員殺害事件の真相』  
の中で明確に、

ついに実行犯が告白  
殺害の真相と黒幕は

ドキュメンタリー宣言

殺害の理由は？

殺害を頼まれた

ついに実行犯が告白  
殺害の真相と黒幕は

ドキュメンタリー宣言

手紙にあった金とは？  
幾ら動いたのですか？

最初に3000万円  
次に1500万円

「最初に3000万円  
次に1500万円もらって  
殺害を頼まれた」と答えた。

つまり尹白水は

確実にヒットマン(殺し屋)

だったわけだ。



問題なのは、

「尹を雇って金を払って


雇ったのは誰なのか?」

どうなんですか?」である。

米国のジャーナリストの  
デヴィッド・カプランと  
アレック・デュブロは  
1986年に  
日本のヤクザと  
右翼をテーマにした  
『Yakuza』  
という本を出版した。




その書籍の中で彼は、  
次のような衝撃的事  
実を述べている。



戦後、GHQ占領軍は、  
地主制度、財閥、軍部と共に、  
ヤクザも解体すべきであった。

しかしGHQ占領軍は  
それをせまい、  
ヤクザの社会的な存在を  
容認すると共に、



さらにヤクザが不法に  
勢力を拡大しようとする  
その動きを黙認したり  
助長したりもしてきた。

つまり戦後のヤクザは  
刀以り力によつて生まれた。  
これが本書を書く動機であった。  
これを証明する証拠や資料は、  
米国立公文書館の機密解除文書  
から得た。



しかしなぜGHQ（実質は米国）は、  
地主制度、財閥、軍部は  
解体したというのに、  
あえてヤクザは解体  
しなかったのか？



それはおそらく、  
植民地日本の中で、  
中川財務大臣や  
石井議員のような  
生意気な政治家、  
ジャーナリストなどが  
現れたら、

飛ばすためだろう。  
**ヒットマン**を



多くの日本人にとって  
「右翼」というものは  
「愛国者」と認識されている。



そのために、  
「なぜ在日朝鮮人の  
暴力団員である尹白水が  
右翼構成員を  
標榜するのか」  
と、疑問に思われる  
かもしれない。





すると当時の右翼の大物で、  
なおかつCIAエージェント  
であった

児玉誉士夫の手引きのもと、

暴力団の一部は、  
右翼団体を標榜し始めた。

証拠資料からも、  
自民党の岸信介、  
『日本テレビ』  
初代オーナー  
正力松太郎、  
右翼の大物の児玉誉士夫、  
彼らが、  
CIAのエージェントで  
あったことは消せない  
歴史的事実である。

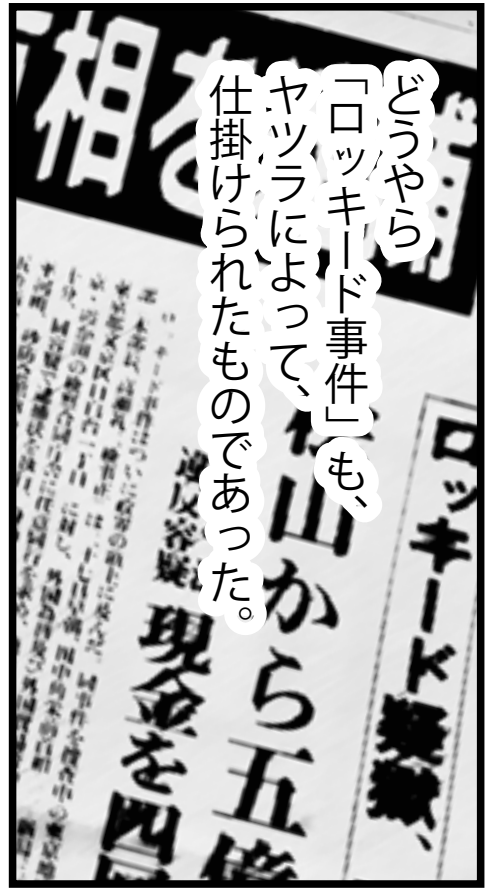
Nobusuke KISHIファイル



児玉誉士夫は、  
そう自慢していたし、  
また公開された

オレは  
CIAのエージェントだ

CIAの文書では、  
「嘘つき」、「ギャング」、  
「ペテン師」、「泥棒」と  
いっぴぐいへ  
コキおろされている。



『ロッキード事件』とは、  
航空機製造会社『ロッキード社』が、  
自社の製品の販売を目的に、

日本の政界や財界に対して、  
多額の賄賂を贈ったとされる  
汚職事件のことであり、



この事件によって田中角栄は、  
日本の政界の表舞台から  
徐々に姿を消していった。

韓国系ジャーナリスト

ジュリー・ムーン（文明子氏）は、アメリカの政治家、政治学者でもある

ヘンリー・キッシンジャーに、こう質問した。



ロッキード事件は貴方が仕掛けたんじゃないの？

するとキッシンジャーは



of course (もちろん)

さらにこう続けたという。



田中は生意気だ。アメリカの手の中で中国との国交を正常化させるならばまだしも、アメリカを差し置いて国交を正常化させるとは、田中くらいはいくらでも変えられる。

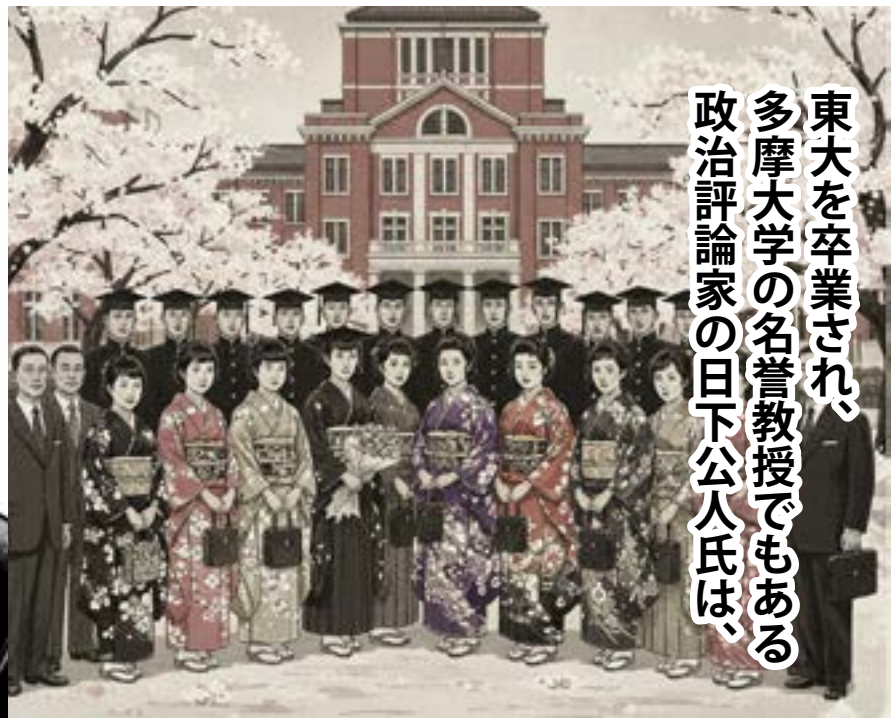
2016年、元大臣の石井一氏も書籍『冤罪』書籍を書いている。



オヤジ（田中角栄）はワナにはめられた。ロッキード事件は冤罪だった。



くだらない陰謀論や  
都市伝説を信じるような  
そんな人物ではない。



東大を卒業され、  
多摩大学の名誉教授でもある  
政治評論家の日下公人は、

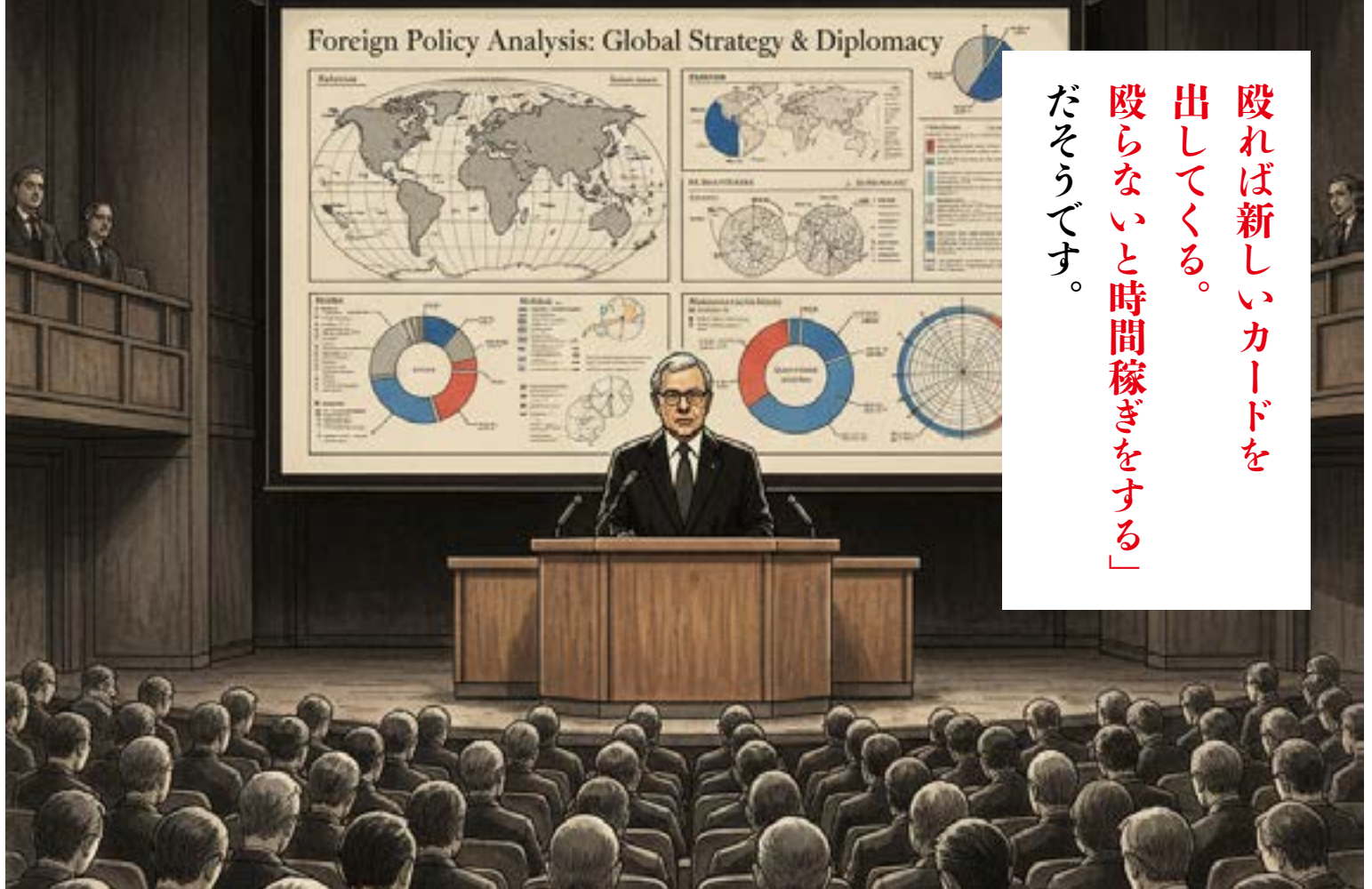
その彼が、  
キッシンジャーについて、  
『自主防衛を急げ！日本人の覚悟』  
という書籍の103ページで、  
こう述べている。



キッシンジャーは退官後、  
1回500万円くらいで  
講演をたくさんしたが、  
一番人気があった題目は  
「**日本から儲ける方法**」  
だったそうです。

その答えは「**まず殴れ**」で、  
その理由は  
「**日本人はサラリーマン  
ばかりだから**  
**自分の意見がなくて、**





殴れば新しいカードを  
出してくる。  
殴らないと時間稼ぎをする」  
だそうです。



「まず殴る」  
そんな考えのもとに、  
田中角栄は失脚し、



そして他の多くの  
政治家たちが、  
消されてきたわけだ。



# 「日米合同委員会」

実はこここそが、日本の権力の中枢である。



『日米合同委員会』で決定したことは、日本の国会、内閣、裁判所の三権を超越し、

『日銀』をも動かしている」と言われている。



いくらなんでも  
裁判所から内閣、  
国会まで動かすなんて  
信じられない！  
そう考えて当然だが、



ではなぜ田中角栄は  
逮捕されて、

石井紘基の暗殺の真相は、  
未だに明らかにならず、

中川昭二は、  
謎の酩酊会見を行い、  
その半年後に  
亡くなったのか？



実はこうしている今も、  
日本に対して  
内政干渉が行われている。

日本は先の敗戦以来、  
**金融的植民地**である。



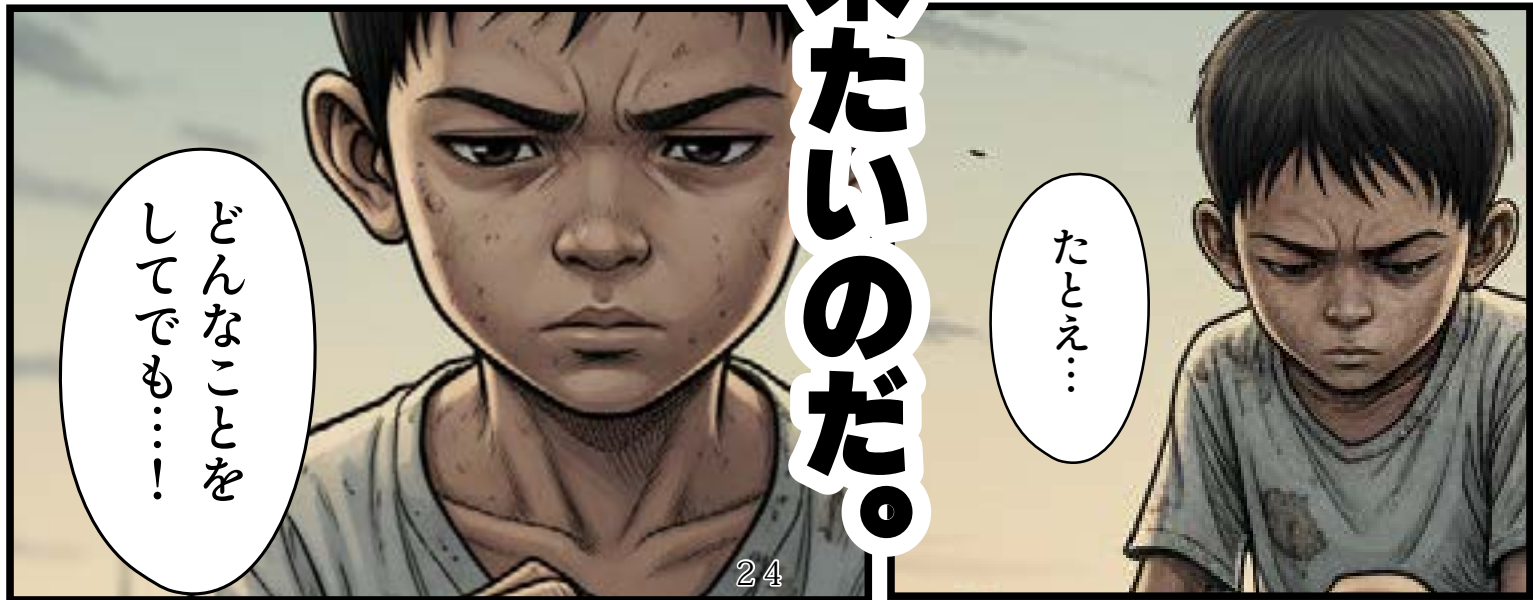
そして日本には今、「移民問題」が発生している。



この生活から  
抜け出したい…

そして次に、日本人が知っておかなければ、ならないことは、  
貧しい国の  
人々の心の中には、  
「豊かな国で暮らしたい」という想いがあるということだ。

**彼らは日本に来たいのだ。**



どんなことを  
してでも…!

たとえ…





私たちにとっては  
見慣れた風景でも、  
世界の方々、

特に貧しい後進国の  
方々からすれば、

# 日本は今なお 「夢の国」なのだ。

同じ人間として、  
その貧しい国の  
人々の気持ちは分かる。



しかし  
もしも貧しい国の人々を  
イギリスやドイツのように  
すべて受け入れたら、

日本は犯罪が  
激増するのみ  
ならず、

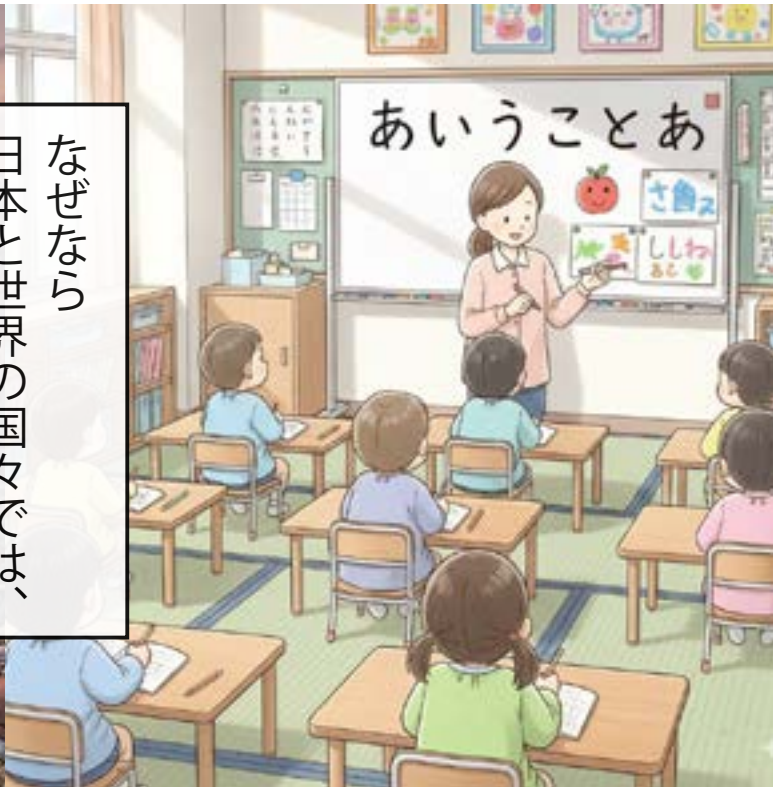
侵略の  
意志を持つ  
国家によって、

伝統文化が  
破壊されるの  
みならず、

いずれ日本そのものが滅びる。



なぜなら  
日本と世界の国々では、  
教育レベルも、



道徳・倫理観も  
大きく異なるからだ。

たとえば  
ナイジェリアの殺人件数は、  
日本の**94倍**であり、

誘拐事件にいたっては、  
**1000倍**にもなることも、  
事実である。

父をナイジェリア人、  
母を日本人に持つ  
ボクシングの  
スーパーライト級の  
元チャンピオン



細川バレンタイン氏は、  
こう語っている。

ナイジェリアで  
高速道路を走ったら、  
必ず人の手や人の足が  
落ちてくる。





たとえばお腹が空いて、  
ひもじくて、  
トマトを盗んだ場合、



市場の大勢の人々が、  
盗みを犯した者を  
捕まえて、



皆でボコボコにして、  
タイヤを体の上から  
はめて焼き殺す。



しかも焼かれた死体は、  
あえてそのまま放置して、  
見せしめにする。



警察が盗んだ犯人を  
射殺することもあるが、

しかし民衆が  
犯人を捕まえて殺しても、  
ただ警察は横で  
見ているだけだ。



「トゥクトゥク」というタイなどをはじめ、東南アジアで広く利用されている、三輪自動バイクがあるが、



「トゥクトゥク」の後部座席に女性が乗ってカバンを持っていたら、腕ごと切られて、盗まれることもある。



「こうした二連の話を知れば、  
「高速道路を走ると  
人の手や足が落ちていく」  
という話の意味が理解できる。

教育水準、経済事情が、  
あまりにも違い過ぎるのだ。



細川バレンタイン氏曰く、  
クルド人のヤバさが「1」なら、

ナイジェリア人のヤバさは  
「100」だという。



しかし世界は今、  
移民を推進する流れにある。



1. 貧困をなくそう

8. 働きがいも経済成長も

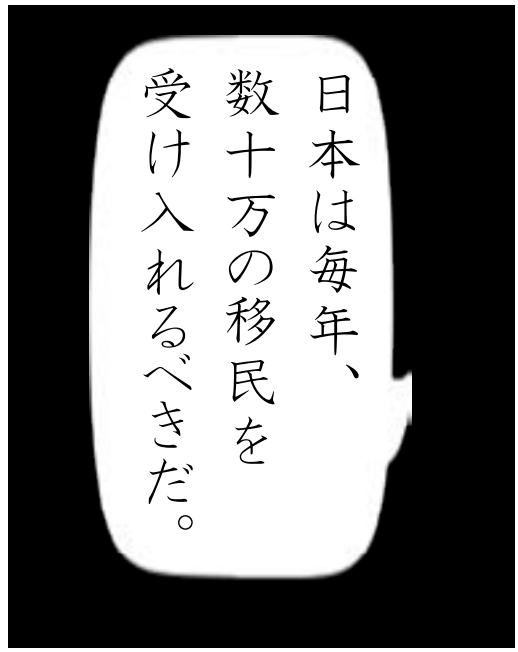
10. 人や国の不平等をなくそう

⑦計画に基づき良く管理された**移民政策の実施**などを通じて、秩序のとれた、安全で規則的かつ**責任ある**移住や流動性を促進する。



「日本人は  
サラリーマンばかり  
だから、まず殴れ」  
と述べたキッシンジャー同様、

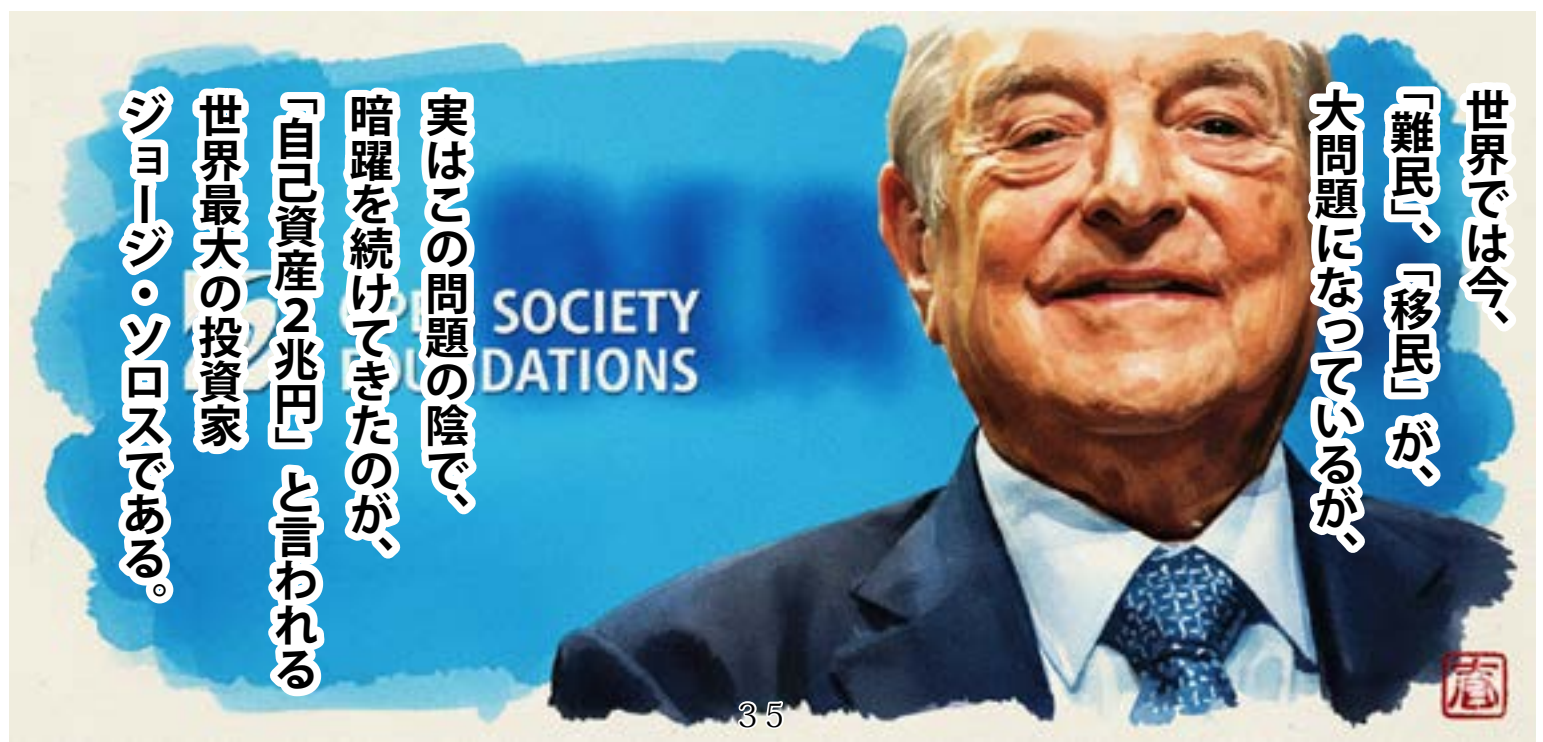
アメリカ政界で、  
多大な権力を持っていたのが、  
ズビグネフ・ブレジンスキーだが、



日本は毎年、  
数十万の移民を  
受け入れるべきだ。



彼は、  
「Replacement Migration  
(代替移民)」  
と題された国連報告書  
の中で、こう述べている。



世界では今、  
「難民」、「移民」が、  
大問題になっているが、

実はこの問題の陰で、  
暗躍を続けてきたのが、  
「自己資産2兆円」と言われる  
世界最大の投資家  
ジョージ・ソロスである。

SOCIETY  
DATATIONS



# OPEN SOCIETY FOUNDATIONS

ジョージ・ソロスの  
『オープン・ソサエティ財団』が、  
「人権」という美名を謳い文句に、  
難民・不法移民の支援を  
行ってきたわけだが、


彼はこう述べていた。

国境の存在は  
邪魔者であり、  
国境を撤廃して  
人々が欧州に入れる  
ようにすべきだ。




ソロスが設立した  
『オープン・ソサエティ財団』  
こそ、世界中における  
移民・難民問題の背後で  
暗躍してきた。

イギリスの首都ロンドンでは、  
すでに移民は4割となり、  
もはや崩壊の二途をたどっている。




その証拠に、  
ロンドン市長の  
サディク・カーン氏は、

EU加盟国の  
首都の市長に当選した  
初のイスラム教徒である。




ソロス財団から  
多額の支援を受けている  
ニューヨーク市長マムダニも、  
こう述べている。

ニューヨークは今後も  
移民の街であり続けます。  
移民が築いた街で、  
移民がその原動力となる  
街であり続けます。




すでにヨーロッパでは、  
移民の増加と関連して  
レイプや性犯罪の報告数が  
増加している。




特に移民や難民に寛容な  
「人道大国」スウェーデンは、

レイプの報告発生率が  
非常に高くなり、  
日本の**63倍**である。




そうしたこともあって  
2024年9月、  
スウェーデン政府は、  
帰国を自主的に決めた  
移民に対して、

1人当たり最大  
35万クローナ（約50万円）を  
給付する新制度を発表した。




イスラムの教えでは  
レイプは重罪だが、しかし  
『シャリーア法(イスラム法)』  
の解釈は難しく、

レイプされた被害者女性が、  
逆に罰せられた事例だつてある。



なぜなら男尊女卑の思想が強い、  
イスラム教では、  
女性がレイプされた場合、

少なくとも4人の  
男性ムスリムの  
証人が必要とされるからだ。



そうしたこともあってか、  
カナダに住むイスラム系  
タクシードライバーが、  
女性客に対して、  
信じられない発言をして、  
世界中を驚かせた。

もしパキスタンにいたら、  
あなたを誘拐して  
レイプするだろう。  
カナダにいるから、  
それは出来ないけどね。

2021年8月14日、  
パキスタンで  
数百人の群衆の男たちが、  
女性TikTokerを性的暴行する  
事件が起こり、  
126人が逮捕された。

彼らは私を裸にし、  
性的暴行をしてきた。

そして遊び半分で  
私を引っ張ったり  
放り投げて、  
この仕打ちは、  
二時間半もの間続いた。

「性的テロ」と言える。

それでも、  
移民が増えた地域では、  
ムスリムたちが  
シャリーア法を法律に  
することを求めている。

早くシャリーア法を  
国の法律にせよ！  
いずれ人数の  
多さから  
必ずそうなる！



すでにイギリスでは、  
新生児で最も多い名前は、  
「ムハンマド」となっている。



同じことは、  
デンマークでも起きており、  
デンマーク人は口にしている。

「デンマークはもう終わった」

※埼玉県戸田市の市議会議員 河合雄介氏の動画で、  
デンマーク人はそう語った。 41

もちろん生まれてくる赤ちゃんには、  
何も罪はない。

ただし、このままでは日本も、  
イギリスやデンマークやスウェーデンと  
同じ未来が待ち受けていることだろう。




たとえば名古屋市で、  
朝の通勤途中の28歳の女性が、  
ウズベキスタン人の男に襲われて、

やめて、嫌！


女性の叫び声を聞いた通行人が  
110番通報するという  
恐ろしい事件が起きた。





このまま「移民問題」を  
放置していたら、

日本が欧米諸国と  
同じ状況になるのは、  
もはや歴然であり、



それはつまり、  
私たちは常に、  
レイプ、強盗、傷害など、  
身の危険を感じて、

いつもストレスを感じて、  
生きていかなければなくなる、  
ということだ。


海外から日本に旅行に来て、  
一様に口を揃えて述べる  
感想がある。

ゴミが落ちていなく、  
こんなに街がキレイなんて、  
祖国では考えられない！

生まれて初めて、  
夜の街をイヤホンつけて、  
スマホ見ながら散歩した！


なんで日本はこんなに  
平和で安全なの？  
自分の国に帰るが、  
もう嫌になった！

日本人は皆、  
観光客に優しくくて  
とても親切！




ちなみに外国の  
方々が、  
口を揃えて、

日本に一番驚いているのは、  
トイレのキレイさと充実である。



夜でも女性が  
イヤホンをつけて  
ジョギングできる。



小学生が黄色い帽子をかぶって、  
スクールバスや送り迎え無しに、  
安心して登下校できる。



レストランに入って  
荷物を椅子の下のカゴに  
安心して置いておける、



夜中にお腹が空いたら  
朝まで我慢することなく  
牛丼が食べられる、

自販機で真夜中でも  
ジュースが買える、



こんな日本では、  
ごくごく当たり前の光景でも、  
実は世界からすれば奇跡であり、

その奇跡が今、  
移民や不法難民によって、  
少しずつ失われつつある。

第17回NAGOMi大阪フォーラム  
第1回NAGOMi大賞授賞式

日本で移民を推進している

『NAGOMi』

(外国人材共生支援全国協会)

という組織があり、

この組織が、

『全国知事会』と連携して、

移民を増やす流れがある。



すでに小池百合子

東京都知事は、

エジプト人の就労協力を

合意している。

この「エジプト合意」は、

「エジプト移民受け入れ」

そのものではないが、

移民受け入れ促進につながる。



別の危険性も持っている。

「トロイの木馬」のように

移民政策には、

しかも日本政府が推し進める



トロイの木馬とは、トロイア戦争の際、ギリシャが、木馬に兵を隠して敵国を陥落させた木馬のことである。

ちなみにエジプトで

最も多い名前も、

『ムハンマド』であるから、

このままでは

日本の新生児で最も多い名前も

『ムハンマド』となり、

もし、そうなれば、

日本もスウェーデンのように、

レイプが激増するか、

そうなると

いずれは日本でも、

「シャリーア法を法律に！」

という声も、イスラム教徒の

中から出てくるだろうし、

あるいはそうなってから後、

莫大なお金を使って、

イスラム教徒に

自主帰国を促すことになるだろう。

結論から言って、  
先の大戦は  
日本の侵略戦争などではなく、



むしろ日本が、  
アメリカの金融経済をも  
食い物にしている、

金融エリートたちによって、  
金融的に侵略されたと言える。



アメリカでは、  
子どものホームレスもいれば、

トレーラーハウスで

暮す人も激増しているのは、

金融エリートによって、  
アメリカの金融経済が  
食い荒らされてきたからだ。





そして世界的な権力を持つ  
金融エリートたちは、  
日本を最終的な破壊に  
取り掛かっているし、



また「戦わずに勝つ」という  
『孫子の兵法』のもと、  
中国共産党によって、  
日本は滅びの危機を迎えている。

中国が日本のGDPを  
追い抜いたと言っても、



中国には未だに  
貧しい人は多く、  
「豊かな日本で働きたい」  
と願う中国人は多い。



中国の若者の失業率は20%、  
失業者は2億人と言われる。



そうしたことから、

大量の中国人が

日本に押しかけて来ないように、

かつての日本は、

年収25万元

(約340万円)以上の

富裕層の中国人、

約160万人にしか、

入国ビザを発行してなかった。



ビザの規制緩和を行った。

民主党政権は、

しかし2010年7月1日、



これによって月収5万円程度の  
中間層の中国人でも、  
日本に来られるようになった。

それまでの250倍、

4億人が来日可能になったのだ。

しかも日本がビザの規制緩和を  
行った同じ2010年7月1日、



中国政府は「国防総動員法」  
なる法律を作った。

中国にはこの「国防動員法」  
という法律があるため、  
もしも中国政府が  
「有事だ」と判断した場合、




全世界にいる  
約13億人の中国人は、  
中国の軍隊の一員となって  
立ち上がらなければならぬ。

また中国にある  
「国家情報法」によって、  
全世界の中国人は常に、



中国政府の情報収集活動に、  
協力することが  
義務付けられてもいる。



中国の李鵬<sup>リほう</sup>元首相は、  
オーストラリアの  
キーティング元首相  
との会談で、  
次のように述べたという。

今の日本の繁栄は  
一時的なものであって、  
しよせんは  
徒花<sup>あだばな</sup>にしか過ぎません。

なぜならその繁栄を  
作ってきた日本人が、  
もうすぐこの世から  
いなくなるからです。

20年、30年もしたら、  
日本は国としては存在  
していないでしょう。



また『孫子の兵法』には、  
こんな言葉もある。


「始めは処女しよじよの如し、  
敵人、戸を開く、



後には脱兎だつとの如し、  
敵人、防ぐに及ばず」

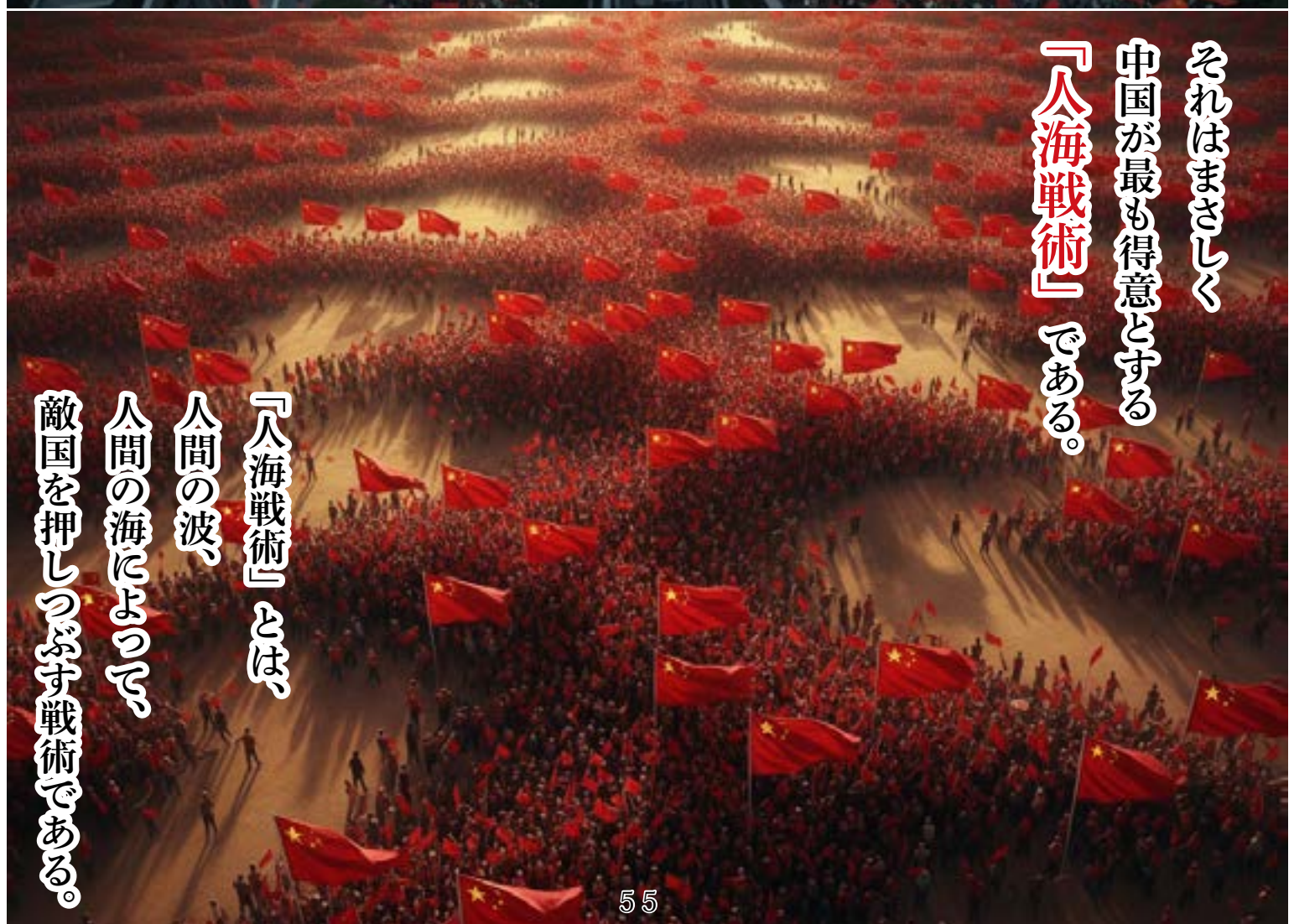


つまり  
「最初は優しい顔をして、  
相手を油断させて、



しかし相手が扉を開いたら、  
一斉に敵陣になだれ込んで、

二度と扉を閉めさせはしない」  
という意味である。



それはまさしく  
中国が最も得意とする  
『人海戦術』である。

『人海戦術』とは、  
人間の波、  
人間の海によって  
敵国を押しつぶす戦術である。

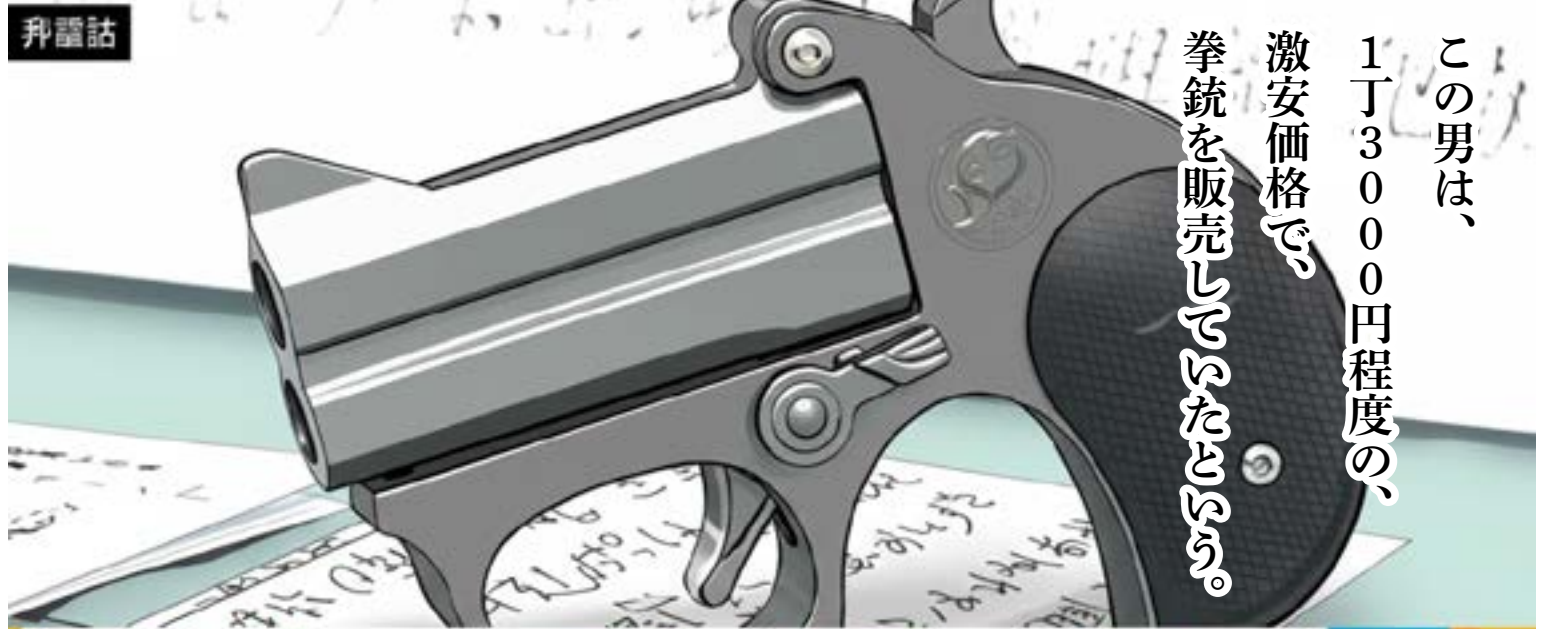


そして、

中国移民も激増する中、

2025年12月、

中国から日本に  
拳銃24丁を持ち込んだ男が、  
逮捕された。



この男は、

1丁30000円程度の、

激安価格で、

拳銃を販売していたとらう。

邦語誌

# 殺傷能力ある玩具銃を中国から密輸か



またオモチャでありながらも、

本物の拳銃と同様に、

殺傷能力を持つ銃が、

クレイニングゲームの景品で、

日本国内に出回って、

騒ぎにもなっており、

その数は1万6000丁である。



しかしなぜ多くの日本人が、  
こうした問題を  
ほとんど何も知らず、

少しも危機感を抱くことなく、  
平穩に暮してらるのだから。



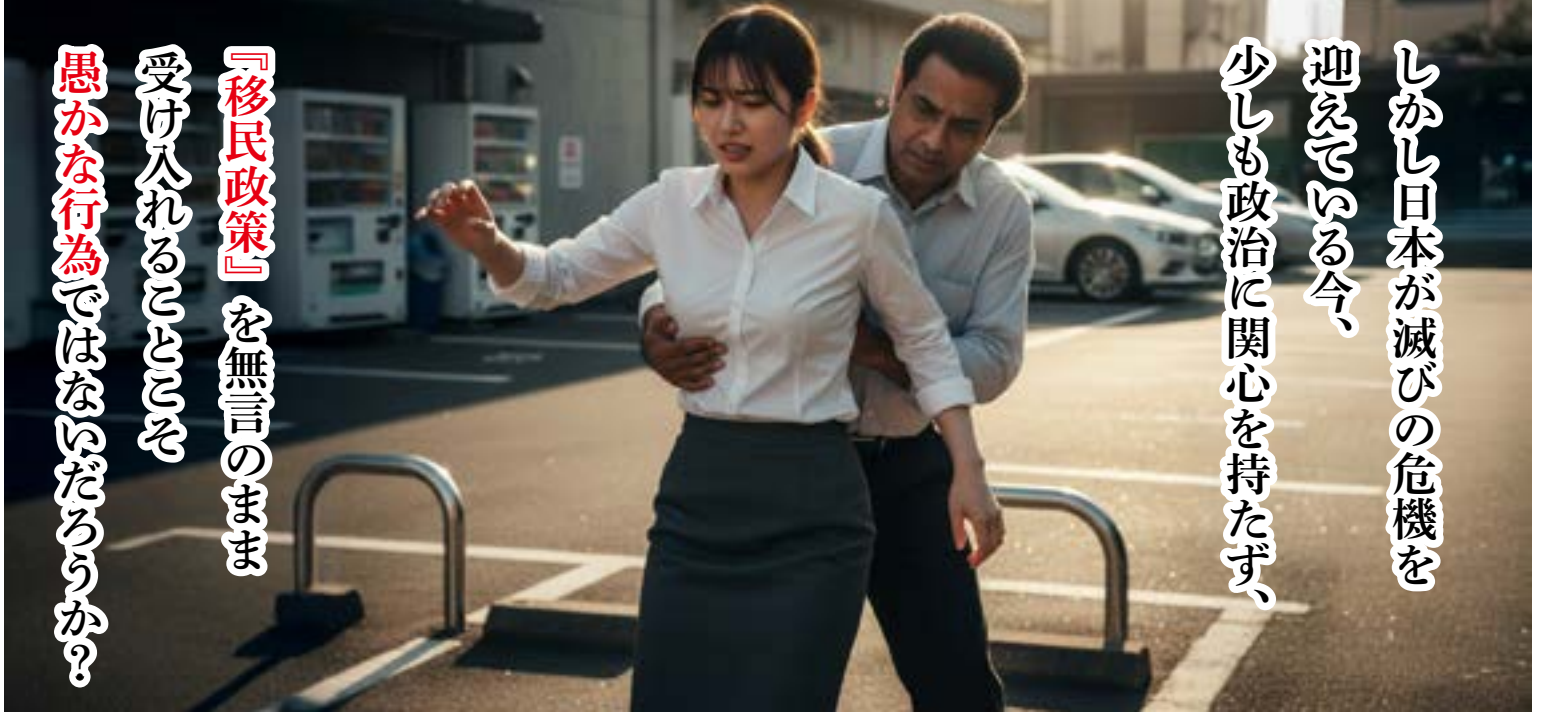
1972年に  
過激派な若者たちによつて、  
死者は警官2名、民間人1名、  
負傷者数26名を出す

「あさま山荘事件」  
が起つた。




この事件以来、日本では  
「政治に関心を持つことはバカ」

というレッテルが  
貼られるようになった。




しかし日本が滅びの危機を  
迎えている今、  
少しも政治に関心を持たず、

『**移民政策**』を無言のまま  
受け入れることこそ  
**愚かな行為**ではないだろうか？



なぜなら、  
女性が襲われていたら助ける、

たとえそれができなくても、  
通報することくらいならば  
誰だつてできる、  
それが人間としての生き方だが、



しかしそういつた  
出来事が当然となつてしまふ、  
**悲惨な未来**が訪れる前に、

勇気をもつて行動を起こし、  
別の未来を築き上げることこそ、  
賢くて正しい生き方だからだ。



そしてこの漫画の本編のほうで、  
詳しく述べているが、  
日本を金融植民地にして、  
金融エリートたちによって、




我々日本国民の「意識」は、  
意図的に国家とか、  
政治とか、経済とか、  
そういったものから切り離され、




そしてスポーツ、  
スクリーン（映画・テレビ）、  
セックス（性文化）へと  
「意識」を結び付けられて、

あえて日本人は政治に対して  
「無関心」  
にさせられてきたのだ。




そして日本人の「意識」が、  
国家とか、  
政治とか、経済などに  
向いていなければ、

当然ながら、  
それらの「知識」を  
聞いても頭には残らず、  
増えてもいかない。



たとえば誰かのことが好きで、  
相手に「関心」があれば、

誕生日から趣味から、  
好きな食べ物や音楽まで、  
「知識」は自然と増えていく。



逆に相手のことが、  
特別に好きではなく、  
特に「関心」が無ければ、

趣味から好きな食べ物、  
いろいろと聞かされても、  
それらの「知識」は、  
右から左には流れていく。

「関心」を持つことこそが、

「知識」を増やし、

そして

「正しい判断力」を与える。

しかし日本人は今、

政治に「関心」が無いから

政治の「知識」は乏しく、

そのため政治において、  
どう「判断」をしたら  
良いのか分からない。

しかしインドの聖女  
マザー・テレサは言ひ、

愛の反対は憎悪ではなく、  
「無関心」です。

真実の愛とは、

相手から奪うものではなく、  
相手に与えるものだから、

相手に対して

「関心」を持つことから始まる。

つまり

日本の本当の問題は結局、

「愛」である。

日本人は今、

「意識」を変えて、

「価値観」をも

変えなければならぬ。

それはすなわち、

「政治」に対して、

無関心で生きることのほりが、

愛の心が乏しく自己中心的で、

本当はカッコ悪くて、



実は政治に関心を持って、  
知識を増やし、  
仲間をも増やし、



そして仲間と共に  
愛と勇気の心をもって  
行動することこそ、





本当はカッコ良くて、正義に則した生き方である」



こうした正しい価値観を、築き上げて

一人一人が正義のヒーローに  
ならなければ、  
日本は確実に滅びるだろう。



だからこそ、無料で読めるので、この漫画の続きをどうか読んでいただきます。

漫画 日本記 リベンジャーズ

無料公開  
真実を知りたい方は  
こちらから



漫画  
**日本社**  
**リベンジジャーズ**  
序章